

遠隔デジタルケアによるフレイル改善プログラムの開発および実現可能性調査

事業概要（フェーズ1）

内容

本研究課題において、提案者が作成した遠隔デジタルケアを、高齢者が安全にフレイルの予防・改善が可能なプログラムを順天堂大学リハビリテーション医学研究チームとともに開発し、POC評価を行う。

背景・経緯

フレイル状態の重要な評価項目である運動機能評価には医療機関等への通院とともに、専門家の面前での評価が必要である。さらに、フレイル状態の予防や改善には対面式の運動指導および健康行動の指導が行われている現状である。本事業において利用者が医療機関等へ移動せず在宅で運動機能評価と安全な運動プログラムが行える技術開発を行う。

狙い、波及効果

医療機関外で安全に高齢者個人の運動機能を評価し、個々の特性を考慮した運動介入法を開発する本研究課題は、高齢者の自立を促進する福祉用具ニーズに応える機器等の研究開発に資するとともに、医療機関・介護施設の通院・通所が困難な場合でも運動機能評価に基づいた最適な運動指導を行うことが可能となる。

事業化

フェーズ2での技術開発研究を経て、2027年度の事業化および販売を目指す。

株式会社アイスリーメディカル

本社所在地	東京都中央区八丁堀三丁目13番8号
設立／資本金	2023年設立/資本金10,000千円
従業員数	10名（2024年10月現在）
事業内容	オンラインリハビリ、セルフケアアプリ、サプリメント販売

機関名：学校法人順天堂 順天堂大学

- ・遠隔運動機能評価の共同開発
- ・専門医による運動内容の検証
- ・運動プログラムのPOC評価、FS調査

